

三田市長

2023年12月8日

田村 克也様

全日本年金者組合三田支部
支部長 XXXXXXXXXX

要 望 書

1. はじめに

市政運営にご精励のことに敬意を表します。

私たちは、高齢者が健康で安心して生活が送れる社会の実現と、各種の交流事業を通じて楽しく元気がでる活動を続けている組織です。

国がすすめる政治のもとで、電気・ガス代や多くの食料品などの物価高騰による負担増、そのうえ、高齢者の医療費の窓口負担増や年金額の引き下げなどによって、日常生活の面で厳しい状況におかれています。

三田では、7月の選挙で「市長が変われば市が変わる」をかかげた新しい市長が誕生しました。国の政治によって、医療や福祉、生活がおびやかされているもとで、地方自治体として市民の命と健康、安心・安全を第1に暮らしと営業を守る対策とともに、市民の声に耳を傾け、暮らしを応援する市政へ、その役割を果たされるよう強く要望します。

つきましては、組合員から寄せられた声をまとめ、以下の通り要望します。ご検討のうえ誠意ある回答をお願いします。

要 望 事 項

1.三田市民病院の問題について

私たちは、市民の命・健康を守るためには、市民病院は現場所での存続・充実が必要と考えています。

(1)市長は、先の選挙で「神戸市北区での新病院建設は白紙撤回」と公約されました。しかし、12月市議会の冒頭で、今まで通り病院の統廃合と北区での新病院の建設を計画通り進めると表明されました。

① 市民の声を聞くとして開催された「市民会議」での市民の声をどう受け止められたのか。

② 「公約」の白紙撤回の理由、その事は、市民の期待を裏切ることになるのでは、市長の見解を。

(2)新しく建設予定の病院に関連して

① 建設費用と今後の運営に係わる市の負担はどうなるのか。

② 新病院は、今より交通不便なところになります。特に高齢者にとっては通院そのものが困難になります。こうした方への交通手段はどう考えておられるのか。

③ 市民病院と済生会病院の統合によって、病床削減は示されているが、肝心の診療体制などは何らわからず、今まで通りの診療が確保されるのか不安。明確な見解を。

④ 現在の市民病院の跡地利用はどう考えておられるのか。

2.国民健康保険税の負担軽減をはかることについて

(1)三田の国保税は、県下でも一世帯当たりの保険料(2022年度)は12番目に高くなっています。

県下では保険税(料)の負担軽減を図るために、一般会計からの繰り入れを約80%の自治体が行っています。三田市でも過去に繰り入れを行っていました。三田でも、一般会計からの繰り入れを行い、県下でも高い国保税の負担軽減をはかること。

(2)「所得の激減」を「5割」から「3割」に拡大するなど市独自の減免制度を充実させること。市独自の減免については、市の一般会計で負担することをルール化すること。

3.介護制度の改善・充実と高齢者福祉対策を急ぐこと

(1)深刻な老々介護の実態を市の責任で早期に把握し、市として実態に見合う総合対策と個別対策を具体化して家族の負担軽減策を講じること。

(2)市として、待機者に見合う特別養護老人ホームの増築計画を実施すること。

(3)要支援1・2が利用する通所型B施設(高齢者ふれあいディサービス)の全市的な設置へ市独自の支援策を充実すること。

4. 高齢者および交通対策の強化をはかること

(1)「高齢者交通費助成」の助成額を増額すること。また、JRへの利用拡大をはかること。

(2)市の責任で、「コミュニティバス」の運行や「デマンドタクシー」の導入など外出を支援すること。

(3)新三田駅にエスカレータの設置をJRに求めること。

5.高齢者のゴミ出し支援策の充実

(1)ゴミ出し困難者への戸別収集を実施すること。前回の要望に対する回答では、「支援の在り方について検討を進めてまいります」となっています。以降の具体的な検討内容は。

以上